

DELPHION

No active tr

SelectCR **St**[Log Out](#) [Work Files](#) [Saved Searches](#)**RESEARCH****PRODUCTS****INSIDE DELPHION**

My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Der

The Delphion Integrated ViewBuy Now: PDF | [More choices...](#)

Tools: Add to Work File: Create new Work

View: [INPADOC](#) | Jump to: TopGo to: [Derwent](#)

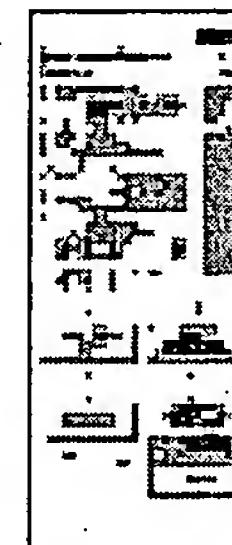
Email

>Title: **JP2001199835A2: KAOLIN-CONTAINING SOLID COSMETIC COMPOSITION AND METHOD OF REMOVING MAKEUP FROM SKIN BY USING THE COMPOSITION**

Derwent Title: Cosmetic composition for make-up removal, comprises powder containing solid particles of expanded polymer and kaolin, and binder containing oil and agents capable to generate heat on hydration [\[Derwent Record\]](#)

Country: JP Japan

Kind: A2 Document Laid open to Public inspection

Inventor: KOELY SANDRINE;
MATTEI JEAN LOUIS;Assignee: L'OREAL SA
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

Published / Filed: 2001-07-24 / 2000-11-30

Application Number: JP20002000366224

IPC Code: [A61K 7/02; A61K 7/00](#)ECLA Code: A61K8/04H; A61K8/26; A61K8/34D; A61K8/37; A61K8/39; A61K8/44;
A61K8/73F; A61K8/81K; A61Q1/14;Priority Number: 1999-11-30 [FR199919999915097](#)

Abstract: PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a kaolin-containing solid cosmetic composition of which the product viscosity can be controlled according to the user's own taste or to the body part to which the composition is applied, and used for removing and/or cleaning makeup from the skin, mucous membrane and/or eye.

SOLUTION: This solid cosmetic composition contains a powder, a binder and a heat-generating agent so that the composition is water-soluble and exothermic, wherein the powder contains solid particles comprising a foamed polymer, the binder contains one or more kinds of oils in an amount of $\geq 30\%$ based on the total weight of the composition, and the heat-generating agent releases heat when water is added.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

INPADOC Legal Status: None [Buy Now: Family Legal Status Report](#)

Designated Country: AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LI LU MC NL PT SE TR

[Show 9 known family members](#)Other Abstract: CHEMABS 135(02)024429D [DERABS C2001-453247](#)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-199835

(P2001-199835A)

(43)公開日 平成13年7月24日 (2001.7.24)

(51)Int.Cl.⁷

A 61 K 7/02

識別記号

7/00

F I

A 61 K 7/02

7/00

テーマコード(参考)

A 4 C 0 8 3

T

J

B

L

審査請求 有 請求項の数22 OL (全 7 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-366224(P2000-366224)

(22)出願日 平成12年11月30日 (2000.11.30)

(31)優先権主張番号 9 9 1 5 0 9 7

(32)優先日 平成11年11月30日 (1999.11.30)

(33)優先権主張国 フランス (F R)

(71)出願人 391023932

ロレアル

L O R E A L

フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14

(72)発明者 サンドリン コーリー

フランス国 92160 アントニー, リュ

デ ジリス 9

(72)発明者 ジャンルイ マッティ

フランス国 92190 ムードン, アヴェ

ニュー オーギュスト ロダン 34

(74)代理人 100109726

弁理士 園田 吉隆 (外1名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 カオリンを含有する化粧用固体組成物と該組成物を使用する皮膚の化粧落とし方法

(57)【要約】

【課題】 使用者自らが好みや適用する体の部位に応じて製品の粘稠度を調節できる、皮膚、粘膜および/または目のメークアップ除去および/または清拭用組成物を提供する。

【解決手段】 発泡ポリマーの固体粒子を含む粉末と、組成物の全重量の30%以上を占める1種以上の油を含むバインダと、水を加えた際に発熱する1つ以上の発熱剤とを含有せしめ、水溶性で発熱性の固体状化粧品組成物とする。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 発泡ポリマーの固体粒子とカオリンを含む粉末と、1種以上の油を含むバインダと、水を加えた際に発熱する1種以上の発熱剤を含有する、水溶性で発熱性の、固体状化粧品組成物。

【請求項2】 前記粒子は、エチレン性不飽和を有するモノマーまたはモノマー混合物から生成される熱可塑性発泡ポリマーまたはコポリマーの中空粒子であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 前記粒子は、メタクリル酸エステルまたはアクリル酸エステル；塩化ビニリデン；アクリロニトリル；スチレンとその誘導体；ブタジエンとその誘導体；またはこれらの混合物からなるモノマーまたはモノマー混合物から生成される発泡ポリマーまたはコポリマーの中空粒子であることを特徴とする請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】 前記粒子は、塩化ビニリデンとアクリロニトリルの発泡コポリマー、あるいは、塩化ビニリデンとアクリロニトリルとメタクリル酸メチルの発泡ターポリマーの中空粒子であることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】 前記粒子の粒径は、1から300μmの範囲であることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の組成物。

【請求項6】 前記粒子の比重は、1.5から2.0kg/m³の範囲であることを特徴とする請求項1ないし5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】 前記組成物は、全重量に対して2から30重量%の発泡ポリマーの固体粒子を含むことを特徴とする請求項1ないし6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】 前記組成物は、全重量に対して0.5から30重量%のカオリンを含むことを特徴とする請求項1ないし7のいずれかに記載の組成物。

【請求項9】 前記発熱剤は、ポリオール、ゼオライト及びこれらの混合物から選択されたものであることを特徴とする請求項1ないし8のいずれかに記載の組成物。

【請求項10】 前記発熱剤は、グリセリン、ジグリセリン、ポリエチレングリコール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ヘキシレングリコール、糖類およびこれらの混合物から選択されたものであることを特徴とする請求項1ないし9のいずれかに記載の組成物。

【請求項11】 前記発熱剤が、組成物の全重量に対して10から65%の量を占めることを特徴とする請求項1ないし10のいずれかに記載の組成物。

【請求項12】 前記1種以上の油が、組成物の全重量に対して1.0から50重量%の範囲であることを特徴とする請求項1ないし11のいずれかに記載の組成物。

【請求項13】 少なくとも12の炭素原子を有する脂肪酸エステルと、分枝鎖を有する炭化水素系油から選択

10

されるマークアップ除去油を含有することを特徴とする請求項1ないし12のいずれかに記載の組成物。

【請求項14】 洗浄性および/または発泡性を有する1種以上の界面活性剤をさらに含有することを特徴とする請求項1ないし13のいずれかに記載の組成物。

【請求項15】 前記界面活性剤が両性界面活性剤であることを特徴とする請求項14に記載の組成物。

【請求項16】 前記界面活性剤の量は、組成物の全重量に対して0.1から1.5重量%の間であることを特徴とする請求項14または15に記載の組成物。

【請求項17】 変性デンプンを含有することを特徴とする請求項1ないし16のいずれかに記載の組成物。

【請求項18】 変形可能な固体状であることを特徴とする請求項1ないし17のいずれかに記載の組成物。

【請求項19】 冷間押出し加工によって得られたものであることを特徴とする請求項1ないし18のいずれかに記載の組成物。

【請求項20】 皮膚、粘膜及び/または目の、マークアップ除去及び/または清拭のために使用されるものである請求項1ないし19のいずれかに記載された組成物。

【請求項21】 請求項1ないし19のいずれかに記載された組成物を取り、所望の粘稠度になるように水を加え、水が加えられた組成物を皮膚に塗り、皮膚を洗うことを含んでなる皮膚のマークアップ除去および/または清拭方法。

【請求項22】 組成物の異なった成分を押出し機に投入して混練し、得られた混合物を成形することを含んでなる請求項1ないし19のいずれかに記載された組成物の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】 本発明は、皮膚、粘膜および/または目のマークアップ除去および/または清拭を目的とした発熱性の、カオリンを含有する水溶性固形化粧品組成物に関するものである。本発明に係る組成物は人の顔にも体にも適用することができ、きわめて滑らかな感触を有する。本組成物は、乾燥時には固体であって変形することができ、使用前に水を加える(hydrater)ことができる。本発明はまた皮膚のマークアップ除去又は清拭のための美容方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 皮膚のマークアップ除去のための組成物は通常ローション、ミルク、ジェル状、希にはクリーム状である。この種の製品の粘稠度は製造者によって決められており、使用者が粘稠度を変更することはできない。しかし、使用者の好みや適用する体の部分に応じて、使用者自らが製品の粘稠度を調節できることが好ましい。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】メークアップの除去を完全に行うためには、メークアップ除去組成物は、化粧品の脂肪分を取り込む油を十分に含有していることが望ましい。しかし、従来は、油分が多くするとメークアップ除去組成物は油っぽくなりすぎ、製品としての魅力に欠けるものになっていた。したがって、利用者が粘稠度を調節することができ、また必要十分な量の油を含有することができるメークアップ除去組成物が必要とされていた。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、特に皮膚、粘膜および／または目の、メークアップ除去および／または清拭に好適な新規な組成物であって、従来の製品が有する上述の問題を解消することのできる組成物を提供するものである。本発明に係る組成物は、使用時に水を加える(hydrater)ことで発熱する使用が容易な組成物であって、従来の製品とは非常に違った感触を有し、使用者の好み次第で、溶解させる固形物の量を調節して、種々の粘稠度と流動性を有する水溶液をつくることができる組成物である。本発明の組成物は、油分を非常に多く含むにもかかわらず、極めて感触の優れたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の組成物は、発熱性で水溶性の固体状の化粧品組成物であって、固体状の発泡ポリマーとカオリンを含む粉末と、1種または2種以上の油を含むバインダと、水を加える(hydrater)と発熱する1種又は2種以上の薬剤を有効量含有する。

【0006】本発明の組成物は、より具体的には人の顔のメークアップ除去と清拭を目的としたもので、具体的には皮膚、粘膜および／または目のメークアップ除去と清拭のための製品である。組成物は変形性または展伸性を有する、乾燥した、粘着性のない、マシュマロに類似した（マシュマロの粘稠度については米国特許第3682659号公報を参照されたい）固体である。その硬さは、子供用の粘土程度である。必要量をとるために手で簡単にちぎることができる。当該組成物は、特に衛生の観点からあらかじめ1回の使用分づつ分けておくこともでき、特に、小さな立方体、球体やキャラメル状の形態とすることができます。

【0007】固体状であるために、本発明に基づく組成物は、特に持ち運び時にも形状が変化する事がない。一方、従来の製品に比較して、保存時にも周囲を汚すことがなく、使用者が取り扱うのも簡単である。特に、抗菌性のために保存料を使用する必要がまったくない点は特筆に値する。

【0008】ここで「発熱性の組成物」とは、組成物の水溶液を皮膚に使用したときに使用者が暖かさを感じるような組成物のことを意味する。これは水の存在によって溶解する(hydrater)際に数度、つまり1度から10度程度、温度が上昇する組成物である。温度が高くなるこ

とによって皮膚の毛穴が開きメークアップ除去が一層効果的に行われるようになる。

【0009】組成物はほとんど無水、つまり、水分は組成物の全重量の10重量%未満、好ましくは6重量%未満である。

【0010】本発明の組成物は化粧品組成物であり、皮膚に対して使用されるものなので、組成物には生理的に許容される媒質、つまり、皮膚、粘膜、目およびケラチン繊維との相容性がよいものが含まれる。

10 【0011】ポリマーの発泡固体粒子は、好ましくはエチレン性不飽和を有するモノマーかモノマー混合物からなる熱可塑性発泡ポリマー又はコポリマーの中空粉末である。本発明において使用できる粉末は、皮膚を刺激せず毒性のないエチレン性不飽和を有するモノマーから製造することができる。本発明に使用することのできる粒子は、例えば、ヨーロッパ特許公報EP-A-56219、EP-A-348372、EP-A-486080、EP-A-320473、EP-A-112807およびUS-A-3615972に記載された方法によって製造することができる。

【0012】粒子内部の空隙には、基本的には、空気、窒素、あるいはイソブタンやイソベンタンのような炭化水素のような気体が含まれている。

【0013】本発明に使用する、熱可塑性の発泡中空粒子を形成することができるモノマーとして、アクリル酸メチルやメタクリル酸メチルのようなメタクリル酸やアクリル酸のエステル；塩化ビニリデン；アクリロニトリル；スチレンとその誘導体；ブタジエンとその誘導体；これらの混合物を挙げることができる。

30 【0014】例えば、アクリル酸メチルまたはメタクリル酸メチルのポリマーまたはコポリマー、スチレンとアクリロニトリルから生成されるコポリマー、塩化ビニリデンとアクリロニトリルまたは塩化ビニルのコポリマーを使用することができる。

【0015】0から60%の塩化ビニリデン又はその誘導体と、20から80%のアクリロニトリルかその誘導体の1つと、0から50%の（メタ）アクリルモノマーまたはスチレンモノマーとを、重量の合計が100%となるように含有するポリマーまたはコポリマーを使用することが好ましい。（メタ）アクリルモノマーは例えば（メタ）アクリル酸メチルまたはエチルである。スチレンモノマーは例えばスチレンかαメチルスチレンである。

【0016】本発明で使用される粒子は塩化ビニリデンとアクリロニトリルか、塩化ビニリデンとアクリロニトリルとメタクリル酸メチルの発泡コポリマーの中空粒子であることが一層望ましい。これらの粒子は無水物でも水和物であってもよい。

40 【0017】本発明に使用する粒子の粒径は、1μmから300μmの間であるのが好ましく、5μmから20

0 μm の間であるのが一層好ましく、10 μm から100 μm の間であるのがなお一層好ましく、15 μm から50 μm の間であるのが最も好ましい。粒子の密度は、15 kg/m³ から200 kg/m³ の間が好ましく、40 kg/m³ から120 kg/m³ の間が一層好ましく、60 kg/m³ から80 kg/m³ の間がさらに一層好ましい。

【0018】本発明において使用することができる粒子は、例えば、ノーベルキャスコ (Nobel Casco) 社によって商品名エクスパンセル (EXPANCEL) として商品番号 551 DE 50 (粒径が凡そ40 μm)、商品番号 551 DE 20 (粒径が凡そ30 μm で密度が凡そ65 kg/m³)、551 DE 12 (粒径が凡そ12 μm)、551 DE 80 (粒径が凡そ80 μm)、461 DE 50 (粒径が凡そ50 μm) で市販されている、塩化ビニリデンとアクリロニトリルとメタクリレートの発泡ターポリマーのミクロスフェアである。さらに、以下の記述では EL 23 と称する、前出と同じ発泡ターポリマーのミクロスフェアであって粒径が凡そ18 μm で密度が70 kg/m³ のものも使用することができる。

【0019】発泡ポリマーの固体粒子は、組成物の全重量に対して、例えば2から30重量%、好ましくは2から10重量%の濃度で組成物中に含まれる。

【0020】さらに、本発明に係る組成物は、皮膚表面の皮脂腺分泌物や固体脂肪分をきれいに取り除いて皮膚に柔らかさを与えるカオリンを含有する。カオリンの量は非常に広い範囲が許容されるが、好ましくは組成物の全重量に対して0.5から30重量%、さらに好ましくは1から16重量%である。

【0021】本発明の組成物は、バインダ中に、組成物に水を加えると発熱する1つ以上の薬剤を有効量含む。発熱剤は、少なくとも2つのヒドロキシル基と少なくとも3つの炭素原子とを有するポリオールと、(活性化あるいは非活性化) ゼオライトから選択することができる。この種の物質は水と発熱反応を行う特徴がある。発熱反応を行わせるには、組成物がほとんど水分を含有せず、水分は組成物の全重量の6%未満であることが望ましい。

【0022】少なくとも2つのヒドロキシル基と少なくとも3つの炭素原子とを有するポリオールとしては、グリセリン、ジグリセリン、プロビレングリコール、ブチレングリコール、ヘキシレングリコール、ポリエチレングリコール、PEG-8 のように分子量が600未満のポリエチレングリコール、ソルビトールのような糖類やこれらの混合物を挙げることができる。

【0023】ゼオライト (アルミノケイ酸塩) としては、ゼオライトA、フルカ社とユニオンカーバイド社が販売しているゼオライトX、ヨーロッパ特許出願公報EP-A-384070に記載されたゼオライトMAP、ヨーロッパ特許出願公報EP-A-187912に記載された活性ゼオライトAを挙げることができる。使用さ

れるゼオライトに含まれる陽イオンはNa、K、Ca、Zn、Mg、Li、Cuおよびこれらの組み合わせである。

【0024】発熱剤の量は、水を加えた後に、使用者が組成物を使用する際に暖かさを感じる程度である必要がある。具体的には、発熱剤の量は、組成物の全重量に対して、10から65%の範囲であることが望ましく、15から40%の範囲であることがさらに望ましい。

【0025】本発明に係る組成物は、1種以上の油を含有する。本発明の好ましい実施例では、本発明の組成物は少なくとも12の炭素原子を有する脂肪酸エステルと分枝鎖を有する炭化水素油から選択されたマークアップ除去油を含有する。

【0026】少なくとも12の炭素原子を有する脂肪酸エステルは、直鎖または分枝鎖を有する、1から17の炭素原子を有するアルコールと、直鎖又は分枝鎖を有する、少なくとも12、好ましくは14から22の炭素原子を有する脂肪酸から得られたものであることが好ましい。好ましくはモノまたはジーエステルである。好ましくは、このエステルは不飽和および/またはエーテル基あるいはヒドロキシル基をまったく有していない。一層好ましくは、エーテル基もヒドロキシル基もまったく有さない飽和エステルである。

【0027】本発明においてマークアップ除去用の油として使用することができる脂肪酸エステルは例えば、パルミチン酸2-エチルヘキシル (またはパルミチン酸オクチル)、ミリスチン酸2-エチルヘキシル (またはミリスチン酸オクチル)、パルミチン酸イソプロピル、ミリスチン酸イソプロピル、アジピン酸ジイソプロピル、ヘキサン酸2-エチルヘキシル、ラウリン酸エチル、ミリスチン酸メチル、オクタン酸オクチルドデシル、ネオペンタン酸イソデシル、ミリスチン酸エチル、プロピオニ酸ミリスチル、2-エチルヘキサン酸2-エチルヘキシル、オクタン酸2-エチルヘキシル、カプリニ酸/カプリル酸2-エチルヘキシル、パルミチン酸メチル、ミリスチン酸ブチル、ミリスチン酸イソブチル、パルミチン酸エチル、ラウリン酸イソヘキシル、ラウリン酸ヘキシル、イソステアリン酸イソプロピルおよびこれらの混合物からなる群から選択することができる。

【0028】マークアップ除去用の油として使用することができる分枝鎖を有する炭化水素油は、例えば、10から20の炭素原子を有する、例えば、イソヘキサデカン、イソドデカン、イソパラフィンやこれらの混合物からなる群から選択することができる。

【0029】組成物はさらに上記以外の油を含有することもできる。これらの油は、パラフィン油やワセリン油等の無機油；ペルヒドロスクアレンのような動物性油；アーモンド油、アボカド油、ヒマシ油、オリーブ油、ホホバ油、ゴマ油、ピーナッツ油、グレープシード油、菜種油、椰子油、ヘーゼルナッツ油、バーム油、アブリコ

ット核油、キャロフィラム油、米糠油、トウモロコシ胚芽油、小麦胚芽油、大豆油、ヒマワリ油、ベニバナ油、バッショングルーツ油、ライ麦油およびシアーバターとその油分のような植物性油；脂肪酸トリグリセリドのような合成油；シクロメチコーン、揮発性および／または不揮発性ポリジメチルシロキサン、さらにはフェニルジメチル・シロキサンのようなシリコーン油；あるいはこれらの混合物からなる群から選択することができる。

【0030】本発明の組成物に含まれる油の量は、組成物の全重量の、例えば10から50重量%、好ましくは30から50重量%の範囲である。

【0031】さらに、本発明に係る組成物は、洗浄性および／または発泡性を有する1つ以上の界面活性剤を含有するのが好ましい。当該界面活性剤は、非イオン性、アニオン性、カチオン性または両性である。これらの量は、例えば、組成物の全重量の0.1から15%であり、1から10%の範囲であることが好ましい。好ましくは、前記界面活性剤は、粒径が5から50μm、さらに好ましくは10から20μmの粉末である。界面活性剤は、約50重量%の水分を含むペースト状であってよい。

【0032】本発明で使用することができる非イオン性界面活性剤としては、アルキレンオキシドとアルキルフェノールの縮合物、例えばローム・アンド・ハース社からトリトン(Triton)X 4 5の商品名で販売されているエトキシル化オクチルフェノール；エチレンオキシド、プロピレンオキシドおよびエチレンジアミンオキシドの縮合物、アルキルポリグリコシド、ポリオールと脂肪アルコールのエーテル、例えばシメックス(Chimex)社からシメクサン(Chimexane)NFの商品名で販売されている3-ポリグリセリルヒドロキシラウリルエーテル(CTFA名)を挙げることができる。

【0033】アニオン性界面活性剤としては、脂肪アルコールのポリアルキレングリコールエーテル、タウリン塩、アシルラクチレート、例えばステアロイルラクチレートのナトリウム塩(例えば、マブルコス社が販売しているパティオニック(Patonic)SSL)、アルキル硫酸エステル塩、例えばラウリル硫酸ナトリウム(ヘンケル社が販売しているシポン(Sipon)LCS)、アルキル硫酸グリセリル、例えばココグリセリル硫酸ナトリウム(ニッコー社が販売しているニッコール(Nikkol)SGC-80N)、ポリオキシエチレン化アルキル硫酸エステル塩、アルキルエーテル硫酸塩、例えばモノエタノールアミンのラウリルエーテル硫酸塩、アルキルエーテルカルボン酸エステル塩、モノアルキルまたはジアルキルリン酸エステル塩、例えばアルギニンのモノヘキシル-2-デシルリン酸塩(花王が販売しているMAP-16G-ARG)、エトキシル化アルキルリン酸エステル塩、N-アシルサルコシン酸塩、例えば、ミリストイルサルコシン酸ナトリウム塩(例えば、ニッコー社が販売して

いるニッコールサルコシンエートMN)、N-アシルグルタミン酸塩、例えばラウロイルグルタミン酸ナトリウム(例えば、味の素社のアミソフト(Amisoft)LS 1-1)、アシルイセチオン酸塩、例えばジョーダン(Jordan)社が販売しているココイルイセチオン酸ナトリウム(ジョルダポン(Jordapon)CI)、ポリソルベート、スクシナマート、石鹼、例えばラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸またはステアリン酸カリウム、上記の混合物を例示することができる。

【0034】両性または双性イオン性界面活性剤としては、例えば、ベタインとベタイン誘導体、スルタイン(sultaine)とその誘導体、イミダゾリニウム誘導体、例えばココアンホ二酢酸二ナトリウム、及びそれらの混合物を挙げることができる。

【0035】本発明に使用することができるカチオン性界面活性剤としては、PCAエチルココイルアルギニート(味の素社が販売しているカチオンCAE)のようなピロリドンカルボキシレートの誘導体を挙げることができる。

【0036】本発明の特定の実施態様では、界面活性剤は両性である。両性界面活性剤としては、具体的には、ローディアシミー社がミラノールC 2 Mの名称で販売している、水性ペースト状のココアンホ二酢酸二ナトリウムを例示することができる。

【0037】本発明の組成物はさらに、マークアップ除去組成物に従来から使用されている親油性成分を1種以上含有することができる。この成分とは、例えば、香料、保存料、酸化防止剤、pH調整剤、イオン封鎖剤、フィラー、色材、化粧又は皮膚科的活性剤、およびこれらの混合物である。これらの添加物は、清拭および／または手入れ用の組成物において一般的な比率だけ含むことができ、具体的には、例えば、組成物の全重量の0.01から10重量%の範囲である。

【0038】フィラーとしては、例えば、タルク、変性又は無変性デンプンである。本発明の好ましい実施態様ではフィラーとして変性デンプンを使用する。変性デンプンとしては、無水オクテニルサッキニックによってエステル化した澱粉、具体的には、ナショナルスター社がドライ・フローの名称で販売している「アルミニウムスタークテニルスクシナート」、アミラム(AMYLUM)社がレジスタミル(RESISTAMYL)E 2の名称で販売している架橋トウモロコシデンプン；アミラム社がスプラミル(SUPRAMYL)P 6 0の名称で販売しているカルボキシメチル基でエステル化したポテトデンプン、アミラム社がメリジェル(MERIGEL)E F 6の名称で販売しているヒドロキシプロビル基でエステル化したトウモロコシデンプン、ナショナルスター社がナトロソープ(NATROSORB)HF Bの名称で販売している、無水オクテニルコハク酸と疎水性単位で変性させ予めゼラチン化させたデンプン；セレスター(CERESTAR)社がC*F 10 06205

の名称で販売している架橋及びアセチル化させたデンプン；アブブ(Avebe)社がプリモジエル(PRIMOJEL)の名称で販売しているポテトの架橋デンプンを挙げることができる。

【0039】変性デンプンの量は例えば、組成物の全重量の5から40%、好ましくは10から30%である。

【0040】本発明で使用することができる活性剤としては、オクトビロックスやトリクロサンのような抗菌剤、サリチル酸のようなケラチン溶解剤、精油、親油性ビタミンを挙げることができる。

【0041】本発明の組成物は皮膚、粘膜及び／または目のメークアップ除去と清拭、特に皮膚のメークアップ除去と清拭に好適である。本発明はさらに上記の組成物の、皮膚、粘膜及び／または目のメークアップ除去と清拭のための使用に関する。

【0042】すでに述べたように、本発明の組成物は変形可能な固体状で、必要な量を取り分けるために手でちぎることができる。組成物を必要量だけ取り分けて手のひらに取り、使用者が望む粘稠度(クリーム状やミルク状)になるように適宜水を加える。クリーム状又はミルク状の組成物を顔に塗って皮膚を洗う。極めて快適に、良好なメークアップ除去効果を得ることができる(さらに、メークアップ除去の後に皮膚の突っ張り感がない)。

【0043】本発明はさらに、上記の組成物を必要量だけとりわけ、必要量の水を加えて所望の粘稠度に調節し、水に溶解した組成物を皮膚に塗って、皮膚を洗うことを含む皮膚のメークアップ除去または清拭のための美容又は皮膚科学的な方法に関するものである。

【0044】本発明の組成物は当業者に既知の方法で製造することができるが、特に、各成分を混ぜあわせた後に適当な混合器で混合することによって得ることができ。さらに、混合の後、混練を行い、次に、ヨーロッパ特許出願公開EP-A-605284号公報やフランス特許出願公開2715306号公報に記載されているような同一方向に回転する2つのスクリューを有する押し出し機によって押し出しを行うのが好ましい。ヨーロッパ特許出願公開651991号公報に記載された方法によ*

*っても良い。

【0045】本発明はさらに、混練した組成物の各成分を押し出し成形機に投入し、得られた混合物を成形することを含む上記の組成物の製造方法に関するものである。

【0046】組成物の成分を2つのスクリューを有する押し出し機の投入口に室温で、好ましくは20°C前後の温度で投入する。好ましくは、固形状の成分をまず投入し、次に液状の成分を投入する。全成分を、好ましくは

10 15°Cから25°Cの温度範囲に維持した押し出し機内で混練する。得られた混合物は、次に押し出し機の出口部分に搬送されて口金を通して押し出される。スクリューの回転速度は300から1000回転/分、好ましくは450から650回転/分程度である。

【0047】口金を通して押し出された、口金の形状によって定まる一定断面形状を有する組成物を、次に所定の形状、例えば、棒状、直方体状に成形する。口金の形状と成形時の型の形状は必要な最終形状に応じて適宜変更することができる。

20 【0048】押し出された組成物を、減水及び／または粉碎および／または圧縮することもできる。成分が水溶液又は分散液の形で使用されたときは減水処理を行うことが好ましい。

【0049】全ての製造工程が、好ましくは20°Cから25°Cの温度範囲で行われるので、ビタミンや揮発性油のような温度に敏感な成分を使用することが可能である。また、温度による成分の劣化を考慮する必要がないので、温度に対して敏感な成分を押し出し機のどの段階(最初、中間部又は最終部)で混ぜ合わせるかは自由に

30 選択することができる。混練と押し出し加工を(例えば窒素のような)不活性ガス雰囲気下で行うことも可能である。

【0050】以下の実施例は本発明の理解を容易にするために記載するものであって、本発明がこの実施例に限定されることを意図するものではない。注記のない限り、比率は重量%である。

【0051】

【実施例】

- ココアンホニ酢酸ニナトリウム(活性成分50%) (ローディアシミー社のミラノールC2M)	9%
- PEG-8	16.8%
- プロピレングリコール	16.8%
- 架橋デンプン(アブブ社のプリモジエル)	16.2%
- パルミチン酸エチル-2-ヘキシル	11.8%
- イソドデカン	15.2%
- カオリン	9.8%
- エクスパンセル651DB20	4%
- 保存料	0.4%

【0052】製造工程

界面活性剤(ココアンホニ酢酸ニナトリウム)と油(パルミチン酸エチル-2-ヘキシルとイソドデカン)を混合した(A相)。別に、グリコールを混合した(B

相)。攪拌しながらA相に架橋デンプンを加えて、この混合物にB相とカオリンを加えた。こうして得られた混合物とエクスパンセルを、450回転/分で回転する押し出し機に投入した。こうして得られた製品を押し出し機の

口金によって成形した。

【0053】得られた製品は粘着性がなく、容易に変形し、容易に水に溶解し、塗布とふき取りが容易で、感触が柔らかく、優れたメークアップ除去性能を有する組成物であった。手のひらでこの組成物に水を加えて、混ぜ合わせた。加える水の量はどの程度の粘稠度を望むかによって調節することができるが、例えば組成物の体積の*

* 6から10倍程度である。

【0054】組成物を顔につけると温かみを感じ、油分が化粧に含まれる脂肪質の除去を行うと同時に、暖かさで皮膚の毛穴が開いて汚れ落としが効果的に行われる。当該組成物は水によって容易に洗い落とすことができる。

フロントページの続き

(51)Int.Cl.

識別記号

A 61 K 7/00

F I

A 61 K 7/00

テーマコード(参考)

C
F

F ターム(参考) 4C083 AB441 AB442 AC012 AC111
AC121 AC122 AC352 AC532
AD011 AD021 AD041 AD042
AD071 AD091 AD092 AD111
AD191 AD241 AD242 BB11
BB23 BB24 BB26 CC23 CC24
DD21 EE06 EE07 FF05